

TARCからのご案内

① 第17回TARCセミナーを開催いたします

2026年2月25日(水) 17:30~18:30

演者：帝京大学臨床研究センター講師、Yale大学 医療アウトカム研究・評価センター客員准教授 澤野 充明先生

演題：米国DCTに学ぶ研究革新：患者中心のデジタル研究デザインとは

概要：本講演では、米国における分散型臨床試験(DCT)の最新動向を、澤野充明先生(医学博士)がYale大学 Center for Outcomes Research & Evaluation (CORE)において、2022年から2025年夏までの留学期間中に、計画・実施・論文化までをメインプロジェクトとして担い、現在も客員准教授として継続的に参画している経験に基づき紹介します。取り上げる研究には、コロナ後遺症患者とともに構築したオンライン観察研究 LISTEN、そこから発展した分散型介入試験 PAX LC試験、さらに循環器疾患を対象とする UNRAVEL研究など、米国で急速に発展したDCTの代表的プロジェクトが含まれます。これらの研究では、患者・市民参画(PPI)、電子カルテ(EHR)連携による遠隔スクリーニング、オンライン同意、在宅での検体採取、試験薬剤の直接配送など、従来の臨床研究の枠組みを大きく超えた参加者中心のデザインが取り入れられました。講演では、現場で明らかになった運営上の課題や参加者の声を紹介しつつ、DCTがもたらすアクセスの向上、研究効率の改善、患者中心性の強化といった利点に加え、日本で導入する際に考慮すべき制度面・文化的背景・運用上の課題、そして応用可能性についても議論します。本講演が、日本における今後の臨床研究のあり方を改めて見つめ直すきっかけとなり、新たな実践へつながる一助となれば幸いです。

ハイブリッド開催(大学棟5階FRU ミーティングルーム(505-4) + ZOOM)です。ぜひご参加ください。



WEB 参加申込 URL > <https://forms.office.com/r/UcAWdWn2Zz>

② 第16回TARCセミナーのご報告およびオンデマンド配信について

2025年10月15日に第16回TARCセミナーを開催いたしました。多くの方々にご参加いただきました。御礼申し上げます。今回は「生成AIによる臨床試験プロセスの変革」と題して、国立がん研究センター中央病院 中村 健一先生に、国立がん研究センター中央病院で取り組んでいる研究計画書や総括報告書などの自動生成の取り組みのほか、治験と患者のマッチングや施設選定、試験成功確率の予測など世界における活用事例についてお話しいただきました。さらに生成AIを上手く活用するためのコツや、AIによって変わる世界の将来についてのお話もあり、参加者からは、平易に分かりやすい話し方で最先端の話がかけた、医療分野でのAI活用の具体的な事例を知ることができたといったご意見に加え、自分たちの仕事とAIがどのように関連しているのかイメージがなかったため大変勉強になった、といった声が寄せられました。現在、学内限定で今年度末まで上記セミナーのオンデマンド配信をしております。視聴ご希望の方は、e-mail:tarc-info@med.teikyo-u.ac.jp、もしくはTARCホームページのお問合せフォームよりご連絡ください。

③ 医学統計勉強会のご報告およびオンデマンド配信について

毎年ご好評をいただいております公衆衛生学研究科教授(TARC兼任)宮田敏先生による医学統計勉強会を今年度も昨年9月～12月(全8回)に開催いたしました。今年度は、昨年度のアンケート結果より、勉強会の内容をアップグレードして、学内外に広くご案内しました。ご参加いただいた方々より、いつも大変丁寧にかつ熱心にご講演してくださる、とてもわかりやすい、大変勉強になったなど、ご好評をいただきました。

全8回分の資料、動画はTARC HP (<https://teikyo-tarc.jp/internal/medical-statistics-learning/>) に掲載されています。ぜひ、ご覧ください。

第1回	基本統計量 Table 1 を究めよう	第5回	回帰分析
第2回	Rの導入と使い方	第6回	ロジスティック回帰分析
第3回	連続変数の比較(信頼区間・検定)	第7回	生存時間解析
第4回	分散分析	第8回	経時的繰り返し測定データの解析

④ 今年度も臨床研究学公開講座を開講中です（2026年3月31日まで）

臨床研究を実施する力を身につけることを目標とし、10テーマについて23講義の公開講座を開講しております。ご質問の多いプロトコルにおける統計解析を始め、臨床研究における個人情報の保護や倫理指針、システムティックレビューなど、臨床研究の計画、実施にあたって、より実践的な内容となっております。公開講座へご登録いただき、ぜひご覧ください。



事前登録URL

<https://forms.office.com/r/Rn5ydYVncP>

テーマ	内 容
イントロダクション 臨床研究の進め方と支援体制	①何をする？何をやればいい？本講義の目的と臨床研究概論 ②臨床研究の進め方 - 帝京大学版 ③臨床研究の支援体制 - 帝京大学版
研究デザイン	④CQからのコンセプト作成 - 臨床研究の種類 ⑤臨床研究デザイン - 実行可能性を考えたプロトコル作成
倫理審査のポイント	⑥ランダム化比較試験 (RCT) の倫理審査におけるポイント ⑦臨床研究における個人情報の保護
臨床研究体制の構築	⑧臨床研究システムの構築 ⑨臨床研究体制（チーム）の構築
臨床研究のデータ管理	⑩データとは & どんなデータをどう収集するか ⑪データの品質・信頼性とは？ ⑫EDCについて
臨床研究における解析 - 基礎	⑬プロトコルにおける統計解析 ⑭統計解析の手法 ⑮サンプルサイズ設計
臨床研究における解析 - メタ解析	⑯メタ解析
臨床研究の質・結果の公表	⑰臨床研究における品質マネジメント ⑱研究結果の評価と公表（報告書、Authorship等）
承認審査 (PMDA とは)	⑲PMDAの役割 ⑳医薬品等のライフサイクル ㉑アカデミア、RWD と PMDA
データベース研究・システムティックレビュー	㉒データベース研究について - リアルワールドデータを中心に ㉓システムティックレビュー

⑤ TARC公式X（旧Twitter）のご案内

TARCの公式X（旧Twitter）の運用を開始いたしました。セミナーや勉強会の情報、臨床研究にとって役立つ情報を発信していく予定です。ぜひフォローをお願いいたします。



TARC公式X

<https://x.com/tarcinfo>

TARC Vol. 22

発行日 2026.1

発行元 帝京大学臨床研究センター

発行人 大須賀 積

〒173-8605 東京都板橋区加賀2-11-1
TEL 03-3964-1211 (代) 内線45062



e-mail tarc-info@med.teikyo-u.ac.jp

URL <https://teikyo-tarc.jp>